

備前焼ミュージアム新築等に係る基本的方針

I 建物計画

- 1 新施設：構造、階数は未定であるが、延べ床面積は2,000㎡～2,500㎡程度とする。
建設敷地を最大限活用し、備前焼の街にあって備前市のランドマークとなるような施設をイメージとする。
将来的に伊部駅との連絡通路等の接続が可能な配置、及び敷地内を通る地下排水水路を考慮し、新施設の配置を考えること。
- 2 既存施設：館内収蔵品・機器等、並びに敷地内のモニュメントや看板等の移設計画を策定し、建物及び駐輪場は解体撤去する。

II 敷地計画

- 1 駐車場：購入予定敷地を含め、来館者駐車場を整備する。
- 2 周辺との調整：周辺道路や歩道からの出入り、建物へのアプローチ等を考慮し、外構整備の形状や高さを検討すること。

III 配置・平面案の説明（別紙配置案、平面案参照）

- 1 施行手順
 - ① 現行の事務所機能及び館内収蔵品を移設し、現有施設を解体する。
 - ② 新施設の建設及び駐車場、外構整備を行う。

IV その他注意事項

- 1 新施設に編入する施設は、備前市歴史民俗資料館及び備前市埋蔵文化財管理センターの展示機能の一部を配置すること。
- 2 配置案及び平面案は、技術提案書を考える目安として示したものである。そのため、提示している案にしばられず、自由な提案を考えること。